

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 21 日作成)

| | | |
|------------------------------|--|---|
| 小委員会名 | 地盤震動小委員会 | 主 査 名：永野正行 就任年月：2015 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (振動運営委員会) | 委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕司 |
| 設 置 期 間 | 2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | 震源から表層地盤までの強震動・地盤震動研究の推進と成果公表 初年度：国、地方自治体で公開される予測地震動の情報を収集分析 2 年度：地盤基礎振動小委員会と合同で浅部地盤による地盤増幅問題を議論 3 年度：深部地盤の推定精度とそれによる地盤増幅に関する問題を議論 4 年度：最新の研究動向、予測地震動の作成と実務に供する際の課題を整理 | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：有 主査：永野正行(東京理科大学) 幹事：上林宏敏(京都大学)、佐藤智美(清水建設)、山本優(大成建設) 委員：大野晋(東北大学)、大堀道広(福井大学)、川辺秀憲(京都大学)、神野達夫(九州大学)、関口春子(京都大学)、高井伸雄(北海道大学)、高橋広人(名城大学)、松島信一(京都大学)、山本健史(戸田建設) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 強震動作成手法WG：最新の地盤震動研究の成果を広く会員に公表し、強震動作成の考え方、具体的な過程を見える化する。 地盤構造モデル評価WG：地盤構造の各種推定手法について、数値実験などによる検証や実例報告の調査に基づき、そのパフォーマンスを整理する。 | |
| 2016 年度予算 | 520,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s4/ |

| 項 目 | 自己評価 |
|--|---|
| 委員会開催数 | 6 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画 | 1. 第36回地盤震動地域交流会 (2016) 参加者数 70名 2. 第44回地盤震動シンポジウム「2016年熊本地震で何が起きたか」(地盤基礎系振動小委員会と共同開催) 参加者数 258名 『同名資料』 |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 地盤震動シンポジウム、地域交流会の開催等の活動を通じ、地盤震動研究の普及に貢献。特に 2016 年熊本地震の調査・研究を通じ、社会に貢献。 2. 地盤構造モデル評価のベンチマークテスト実施 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 若手研究者の育成 2. 刊行物の販売促進 3. 他小委員会との合同活動 |